

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

社会医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

57

2019/1



謹 賀 新 年

本年も大洲中央病院を
どうぞよろしく申し上げます。

社会医療法人北斗会 大洲中央病院 理事長 院長 大久保 啓二



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、この地区は大水害に襲われ被害に遭った方が非常にたくさんおられました。当院においても3割以上の職員が何らかの被害を受け、今も生活再建に苦労している状態です。災害時、当院は大きな被災に遭わなかったこともあり、災害医療・被災者の救急医療の一旦を担うとともに、一時避難的入院を要する患者さんへの対応にも尽力して参りました。ここにあらためて災害に遭われた方へのお見舞いを述べるとともに、自宅が被災した状態にもかかわらず救急医療の維持に努めてくださった職員にも大きな感謝の言葉を贈らせていただきます。今年は、新天皇の即位・新元号への

改元もありますので、大きな災害のない平和な一年となることを祈ってやみません。ところで、今年は十二支では亥年です。猪突猛進は必ずしも褒められた表現ではありませんが、脇目も振らず真っ直ぐに突き進む力と情熱には見習う点が多いのではと感じています。私たちが真っ直ぐな情熱で頑張る参りますので、本年も昨年同様よろしくお願い申し上げます。

インフルエンザの流行時期は 院内感染対策を強化しています



Zoom Up!
OozuchuoHospital



【外来での診察対応】

今年もまた、インフルエンザが流行する季節がやってきました。インフルエンザの症状は、咳や痰などの呼吸器の炎症や発熱など風邪とよく似ていますが、その症状は重く、死に至ることもある病気で、特に、高齢者の方が肺炎を併発し入院されるケースは、当院でも少なくありません。発症後48時間以内に抗ウイルス薬の服用や吸入をすれば、症状が軽減され早く治ることが期待できます。早目に治療することは、自分の身体を守るだけでなく、周囲の人にうつさないという意味でも重要です。安易に風邪と判断せず、早目に医療機関を受診してください。今回は、インフルエンザの基礎知識と当院における外来診察の流れについてご紹介します。

インフルエンザと感染経路

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによって引き起こされる呼吸器感染症です。風邪に比べると、高熱が出て全身の倦怠感・筋肉痛・関節痛などが突然現れ、これに咳・鼻汁などの上気道炎症状が続き、約1週間で軽快します。インフルエンザに感染している人が咳やくしゃみをして、ウイルスを含む唾液や鼻水を周囲に飛散させ、それを吸い込むことで感染する「飛沫感染」が最大の原因だと言われていますが、他にもドアノブなどの環境表面についたウイルスが手を介して口や鼻から入る「接触感染」があります。また、換気の良くない密封された空間では、飛沫や飛沫核が濃縮された空気を介して感染が起こりうるとも言われてきています。感染予防策として手洗いやうがいが行われているのは、この感染経路を断つためであり、定期的な換気も必要になってきます。

外来では、感染拡大を防止するため 待機場所を分けています

病院には、様々な感染症が疑われる患者さんが受診されますが、特にこの時期はインフルエンザを

疑い受診される方が多くなります。そのため、外来や中央処置室、待合スペースなどで感染する可能性もあり、標準予防策に基づく感染防止策と患者教育、感染症経路別防止策を講じています。

症状のある方が来院された場合、まず受付で問診票を記入していただきます。感染が疑われる場合は、マスクを着用していただき、総合受付前に待機場所としてパーテーションで仕切られたエリアを設置し、そこにご案内しています。エリア内では、椅子の間隔を1メートル以上あけて配置することで飛沫感染を防止、自動扉の近くに設置し空気が滞留しないようにすることで空気感染を防止しています。ご家族同伴で来院された場合は、ご家族にもマスク着用をお願いして、可能な限り患者さんとは別の場所で待機していただくようにしています。

その後、看護師が詳しく問診内容を確認し、より感染が疑われる場合は、診察前にインフルエンザ抗原検査ができることを患者さんに説明、ご希望があれば診察前の時間で検査を行います。また、患者さんとの接触前後には擦式消毒薬で手指消毒を行い、接触感染を防止しています。

迅速診断キットによる検査

インフルエンザ抗原検査については、検査技師が待機場所にお伺いして検体採取をさせていただきますので、患者さんは移動なさらなくてもいいようにしています。検査は、直接鼻の奥の粘膜に綿棒を擦り付け、粘液を採取させていただきます。5分程度



検査技師による検体採取

でわかりますので、陽性結果が出た場合は、速やかに診察ができるように配慮しています。ただし、重症や緊急度の高い患者さんがおられる場合は、感染が拡大しないようにエリア内での待機方法も考えながら待っていただいています。



診断キットでの検査

診断後は速やかに診察し、院内滞在時間の短縮に努めています

続いて診察方法ですが、一般の診察室を使用し、終了後は速やかに会計ができるように配慮し、院内での滞在時間をできるだけ短くして、ご自宅ゆっくりお休みいただけるように努めています。使用した診察室は、換気及びアルコールでの清拭を行い、感染拡大防止の対策をとっています。患者さんやご家族への指導では、パンフレットをもとに療養上で気を付けていただくことと、感染拡大防止の対応について説明しています。

また当院では、地域住民の方々に向けて健康講座を毎月開催しており、11月にノロウイルス、インフルエンザ感染予防についてお話しさせていただき、地域住民の方や高齢者施設の職員など多数の参加がありました。徐々に参加者も増加しており、興味を持って参加していただいていることを実感しています。今後も、受診時の対応を丁寧に行うと共に、院外への情報の発信も含めて、感染予防に努めてまいります。

クリスマスコンサートを開催しました

12月13日にクリスマスコンサートを行いました。入院されている患者さんやご家族の方に、少しでもクリスマスの雰囲気を感じて頂きたいと昨年度から開催しており、今年で2回目となりました。今年は、特別ゲストとして八幡浜市出身でオペラ歌手の菊池有里子さんをお招きし、華やかな催しとなりました。

まずは、職員有志によるハンドベル演奏から始まりました。8名の多職種からなるチーム『Music Bells』は、メン



バーのほとんどが初心者でしたが、この日のために日々練習を重ねた甲斐があり、本番では息の合った美しい音色を響かせることができました。

続いて、菊池有里子さんが鮮やかな真紅のドレスで登場し、ミニ・コンサートが始まりました。今回は、ピアノ伴奏に船越のど華さん、助演としてテノール歌手の後藤将文さんにも参加して頂き、華やかなコンサートとなりました。船越さんの奏でるグランドピアノに合わせて「ジングルベル」や「サンタが町にやってくる」などのクリスマスメロデーから始まり、患者さんの中には、一緒に歌いながら拍手をされていた方もいらっしゃいました。次に菊池さんの本領発揮、オペラ「サムソンとダリラ」より「私の心はあなたの声に花開く」を歌って頂きました。この曲は旧約聖書の物語で、ダリラという女性がサムソンという男性を誘惑するという内容です。菊池さんと後藤さんの情感たっぷりの歌声がピアノの音色と重なって待合ホールに響き渡り、とても感動的な一幕でした。参加された皆さん

も、うっとり和本場のオペラに聞き入っていらっしゃいました。最後は「荒城の月」「川の流れるように」など、親しみのある曲が披露され、菊池さんの呼びかけにより皆と一緒に歌う場面もあり、楽しいひと時となりました。



コンサートの最後にはプレゼント抽選会があり、菊池さんや後藤さん、船越さんにもプレゼンターとして参加して頂きました。当選された方の嬉しい悲鳴も上がり、楽しい雰囲気の中、終幕となりました。

今年は80名という大勢の方に参加して頂き、お帰り際には「とても素敵な時間を過ごさせて頂きました」と嬉しいお言葉も頂戴し、笑顔・笑顔の一足早いクリスマスとなりました。

塩鶏とキャベツのスープ煮

■材料 (4人分)

塩鶏	キャベツ……………1/3個(350g)
鶏胸肉……1枚(300g) (塩小さじ1強)	人参……………1/3本(50g)
水……………3カップ	春雨……………50g
酒……………大さじ2	塩……………小さじ1/3
	こしょう……………少々
	ごま油……………大さじ1/2
	片栗粉……………大さじ1/2 (同量の水で溶く)
	ラー油……………適量

■作り方

- ①塩鶏を作る。鶏肉の表面全体に塩をすり込み、冷蔵庫に一晩おいて洗う。鍋に入れて分量の水、酒を加え、弱めの中火で15分ゆで、そのまま粗熱をとる。
- ②キャベツはざく切りにする。にんじんは太めのせん切りにする。
- ③春雨は熱湯に3分つけてもどし、ザルに上げて水気をきり、食べやすい長さに切る。
- ④①の鍋から塩鶏をとり出し、皮を除いて粗くほぐす。ゆで汁は火にかけて、キャベツ、にんじん、春雨を加え、ふたをして6～7分煮る。
- ⑤塩鶏を戻し入れ、塩、こしょう、ごま油で調味し、煮立ったら水溶き片栗粉でとろみをつける。器に盛り、ラー油を好みの量かける。



からだに効く

レシピ

Point

塩鶏うまみの力で、
キャベツもおいしい。
たっぷり野菜で
ローカロリー!

大洲中央病院栄養科

すぐそばにある絵画 院内美術館 24



『風景・カフェテリアと犬』
青山 義雄 作

地中海の街並みを 色彩豊かに描く光の世界

今回ご紹介するのは、本館2階リハビリスタッフステーションにある、現代にも通じる叙情的な作風で、地中海沿岸の自然をモチーフにした絵画を多く描いた青山義雄の『風景・カフェテリアと犬』。デフォルメされた人や動物が柔らかな光の世界で鮮やかに描かれた幻想的な作品です。



青山義雄 / 1894年神奈川県横浜須賀生まれ / 大下藤次郎に師事。1921年サロン・ドートンヌ初入選、国画会会員。第1回佐分賞。中村彝賞受賞。

次号はカシニョール
「モンテカルロ」をご紹介します。

健康講座

参加自由
入場無料

- 会場 大洲中央病院 2階 第一研修室
- 時間 午後2:00～3:00

※都合により内容が一部変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。※場所を変更する場合があります。

【開講予定】

- ◎1月24日(木)
STOP!! 誤嚥性肺炎……………内科医師
高齢者を支える制度やサービスの基礎知識……………地域医療連携室
- ◎2月21日(木)
もしものために終活を考える～医療の現場から～……………看護師
熱(体温)、脈、血圧について～その数値の意味するところ～……………救急看護認定看護師
- ◎3月28日(木)
認知症の基礎知識……………看護師
認知症介護のコツやポイント……………看護師

第46回忘年会・開院45周年 祝賀会に参加して

12月10日に第46回忘年会が開催されました。今年は開院45周年記念祝賀会も合わせて行われ、運営委員による楽しい企画もあり大変盛況でした。

大洲中央病院45年間の歴史や大勢の職員が協力したダルマの制作映像などがスクリーンで流れ、最後には会場で大久保院長と寺尾事務部長によるダルマの目入れが行われました。他にも、職員で結成されたハンドベル演奏チーム『Music Bells』による演奏会や、豪華賞品が当たる抽選会、病院のシンボルマーク募集作品の最優秀賞の発表などが行われ、私もハンドベルの演奏と抽選会のプレゼンターとして参加しました。会は終始和やかな雰囲気で行われ、会場を見渡すと沢山の笑顔が見られました。大洲市は7月の豪雨災害により大変な被害を受け、当院でも多くの職員が被災しました。まだまだ被災の爪痕が残っている中で、このように忘年会が開催されたことを、とても嬉しく思います。職員で制作したダルマは、地域医療の躍進の



願いを込め、現在1階売店前の通路に飾ってありますので是非ご覧ください。

医事課 長平 朋佳

院内リスクマネジメント研修 の開催

11月5日リスクマネジメント研修として「医療事故防止に役立つ危険予知トレーニング」をテーマに研修会が開催されました。今回は気づきの訓練を目的に、多職種が数人集まってチームを作り、グループワークを行いました。

グループワークは、まず院内でよくある場面の写真が提示され、その中にどんな危険が潜んでいるかを具体的に挙げます。次に問題だと思う危険因子を選び、その危険因子に対する前向きな対策を考え、実施目標を設定するという内容でした。

スタッフによって何が危険で何が安全なのかの認識が異なり、自分では気が付かなかった危険因子を認識することができました。今回の研修で、個人だけでなくチームで安全に対する意識を高めることが大切であることを学びました。「気づき」の能力を身につけ、日々の医療現場で活用していこうと思いました。



検査科 笹岡 尚美

世界糖尿病デー関連イベントに 参加しました

毎年11月14日の世界糖尿病デーには、世界の各地で糖尿病に関する各種イベントが行われています。大洲市でも市内の病院が協力して、例年大洲城をシンボルカラーであるブルーにライトアップし、医療スタッフによる健康相談会を行っています。今回も糖尿病を含めた生活習慣病予防のため、「今日からできる生活習慣改善」として、地域の皆さんに向けて検査や生活指導を行いました。当日は、164名の方が会場である大洲市総合福祉センターまで足を運んでくださり、ご自分の日々の生活習慣を振り返りながら、熱心に質問や相談をされていました。糖尿病は、初期段階では辛く感じる症状は少ないものの、いざ進行すれば重大な合併症を併発し得る病気です。糖尿病の患者さんは、世界中で年々増え続けており、今回の健康相談会でも皆さんの糖尿病に関する関心の深さを実感しました。このイベントは、毎年開催されていますので、これからも私自身も知識を深め、地域の皆さんの健康増進のお役に立てるよう頑張りたいと思います。



愛媛糖尿病療養指導士 崎野 里美

外来診療医師一覧表

診療科目	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
内科	1診	近藤 誠司	休診日	大久保啓二	大久保啓二	近藤 誠司	大久保啓二
	2診	山上 隆司		山上 隆司	井上 明子	山上 隆司	山上 隆司
	3診	井上 明子		井上 明子	近藤 誠司	大久保啓二	非常勤
	4診			清家 愛理	清家 愛理	竹越 大輔(第2-4)	
外科	1診	森岡 徹	休診日	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹
	2診	満谷 臨		満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨
整形外科	1診	栗田 英明	休診日	冲永 昌弘	栗田 英明	冲永 昌弘	冲永 昌弘
	2診						栗田 英明
泌尿器科		清水 公治	休診日	清水 公治	清水 公治	清水 公治	清水 公治
脳神経外科	1診(新患)	西原 潤		西原 潤	瀬野 利太	重川 誠二 末廣 諭 (隔週)	橋本 尚樹(第1-3) 戸田 茂樹(第2-4)
	2診(再診)	瀬野 利太	瀬野 利太	西原 潤			
形成外科			休診日			森 秀樹(第1-3,5) 泉本真美子(第2-4)	

受付時間 午前8時00分～午前11時30分

診療開始時間 午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合あり)

休診日(1～4月) 休診日…火曜、水曜、2月11日(月)、3月21日(木)、4月29日(月)

お見舞い・面会時間 午後1時00分～午後9時00分

◎大洲・喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、市立八幡浜病院(夜)

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は、7月の西日本豪雨により多くの方が被災し、未だ復旧できていない地域もあると聞きます。当院でも被災した職員が多く、当時は市内各所が水没し、勤務者の確保も大変でした。そのような中、職員同士が協力し合い交替で勤務、被災した職員も自宅の整理をしながら勤務してくれました。災害時にこそ必要とされる医療、地域の皆さんが安心して受療できる場であるよう、これからも職員一丸となって頑張りたいと思います。

発行/社会医療法人 北斗会 大洲中央病院

編集/広報委員会

- 寺尾 光司(事務部長・理事)/
- 京河 雅史(放射線科)/伊場 紀子(看護副部長)/
- 道休 由佳里(看護師長)/
- 井上 結希(リハビリテーション科)/
- 大西 修平(リハビリテーション科)/
- 松本 奈緒(総務課)/岡山 啓子(栄養科)/
- 中來田 友里恵(医事課)